

熊本県にて高病原性鳥インフルエンザ 疑似患畜確認 今シーズン国内5例目

- 【農場概要】 場所:熊本県南関町
飼養状況:肉用鶏(約6.7万羽)
- 【経緯】 12月2日 死亡羽数増加で立入
死亡鶏で簡易検査陽性を確認
12月3日 遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザ
の疑似患畜であることを確認

今季、国内で発生している家きんのHPAIの血清型

- ・H5N1亜型:鹿児島県出水市(国内2例目)
兵庫県姫路市(国内4例目)
- ・H5N8亜型:秋田県横手市、鹿児島県出水市(3例目)

【防疫対策の重要点】

- ①早期発見・早期通報の徹底
- ②防鳥ネットの設置や破損個所の修繕等の確認
- ③人・車両の出入りの厳重管理とその消毒の徹底
- ④農場へのウイルス侵入防止の徹底(消石灰散布による消毒)

飼養衛生管理基準を遵守し、防疫対策の徹底をお願いします

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。
連絡の必要な場合は、警備室0573-26-1114 に電話し、「家畜保健衛生所
に緊急に連絡が必要」と伝えると、警備員が家畜保健衛生所職員におつな
ぎします。

東濃家畜保健衛生所

TEL:0573-26-1111(内392) FAX:0573-25-7669